

施設カルテ（評価シート）

東第一学童保育室

施設番号 082

令和 5 .3.31時点

Ⅰ．施設情報・代表建物の情報				
施設基本情報	施設名称	東第一学童保育室		
	代表所在地(地番又は住所)	長野2-26-8	代表建築年度	S49 (1974) 年度
	所管課	子ども未来課	構造・階層	RC・4階建
	大分類(類型)	子育て支援施設	経過年数	48 年
	中分類(機能)	学童保育室	敷地面積	18,547.00 m ²
	配置形態・管理形態	複合 直営	延床面積	64.00 m ²
	建物所有状況	市所有	土地所有状況	市所有
	借受面積(賃借の場合)	- m ²	借地面積(借地の場合)	- m ²
	避難所指定の有無	あり	駐車可能台数	36 台

Ⅱ．施設性能、財務情報、供給情報分析						※端数処理の関係で合計と内訳、単位あたりの数値が一致しない箇所がある																																																																		
■ 施設性能分析(評価大分類)						■ 財務情報(過去3年間平均)																																																																		
<p>— 当該施設の数値 - - 比較対象(同一分類)の他施設の数値</p>						<table><tr><th colspan="2">歳出</th><th>当該施設</th><th>同一中分類平均</th></tr><tr><td colspan="2">歳出合計</td><td>681 千円</td><td>997 千円</td></tr><tr><td rowspan="7">内訳</td><td>人件費</td><td>514 千円</td><td>514 千円</td></tr><tr><td>需用費</td><td>23 千円</td><td>174 千円</td></tr><tr><td>委託料</td><td>144 千円</td><td>145 千円</td></tr><tr><td>土地・建物賃借料</td><td>0 千円</td><td>16 千円</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>0 千円</td><td>148 千円</td></tr><tr><td>その他維持管理費</td><td>0 千円</td><td>0 千円</td></tr><tr><td>指定管理料等</td><td>0 千円</td><td>0 千円</td></tr><tr><td colspan="2">延床面積あたり(縦棒)</td><td>10,634 円</td><td>9,693 円</td></tr><tr><td colspan="2">児童あたり(折線)</td><td>19,262 円</td><td>21,219 円</td></tr><tr><td colspan="2">歳入</td><td>当該施設</td><td>同一中分類平均</td></tr><tr><td colspan="2">歳入合計</td><td>2,530 千円</td><td>3,312 千円</td></tr><tr><td rowspan="3">内訳</td><td>施設利用</td><td>2,419 千円</td><td>2,991 千円</td></tr><tr><td>その他</td><td>0 千円</td><td>0 千円</td></tr><tr><td>補助金等</td><td>111 千円</td><td>322 千円</td></tr><tr><td colspan="2">延床面積あたり(縦棒)</td><td>39,531 円</td><td>31,671 円</td></tr><tr><td colspan="2">児童あたり(折線)</td><td>71,604 円</td><td>67,603 円</td></tr></table>			歳出		当該施設	同一中分類平均	歳出合計		681 千円	997 千円	内訳	人件費	514 千円	514 千円	需用費	23 千円	174 千円	委託料	144 千円	145 千円	土地・建物賃借料	0 千円	16 千円	工事請負費	0 千円	148 千円	その他維持管理費	0 千円	0 千円	指定管理料等	0 千円	0 千円	延床面積あたり(縦棒)		10,634 円	9,693 円	児童あたり(折線)		19,262 円	21,219 円	歳入		当該施設	同一中分類平均	歳入合計		2,530 千円	3,312 千円	内訳	施設利用	2,419 千円	2,991 千円	その他	0 千円	0 千円	補助金等	111 千円	322 千円	延床面積あたり(縦棒)		39,531 円	31,671 円	児童あたり(折線)		71,604 円	67,603 円
歳出		当該施設	同一中分類平均																																																																					
歳出合計		681 千円	997 千円																																																																					
内訳	人件費	514 千円	514 千円																																																																					
	需用費	23 千円	174 千円																																																																					
	委託料	144 千円	145 千円																																																																					
	土地・建物賃借料	0 千円	16 千円																																																																					
	工事請負費	0 千円	148 千円																																																																					
	その他維持管理費	0 千円	0 千円																																																																					
	指定管理料等	0 千円	0 千円																																																																					
延床面積あたり(縦棒)		10,634 円	9,693 円																																																																					
児童あたり(折線)		19,262 円	21,219 円																																																																					
歳入		当該施設	同一中分類平均																																																																					
歳入合計		2,530 千円	3,312 千円																																																																					
内訳	施設利用	2,419 千円	2,991 千円																																																																					
	その他	0 千円	0 千円																																																																					
	補助金等	111 千円	322 千円																																																																					
延床面積あたり(縦棒)		39,531 円	31,671 円																																																																					
児童あたり(折線)		71,604 円	67,603 円																																																																					
評価大分類項目	I 施設	II 設備	III 安全	IV 環境	V 機能																																																																			
当該施設の数値	87	60	0	100	60																																																																			
同一中分類の数値	87	82	60	62	60																																																																			
■ 供給状況(過去3年間の平均)						【歳出の推移】																																																																		
利用実績		当該施設		同一中分類平均																																																																				
児童・生徒・園児数		35 人		47 人																																																																				
学級数		- 組		- 組																																																																				
開館・提供日数		253 日		260 日																																																																				
年間延利用者数		- 人		- 人																																																																				
年間利用・給食件数		- 件		- 件																																																																				
資料数		- 点		- 点																																																																				
入居戸数		- 戸		- 戸																																																																				
児童数(縦棒)		35 人		60 人																																																																				
入室率(折線)		100 %		92 %																																																																				
【利用状況の推移】						【歳入の推移】																																																																		
凡例		児童数(縦棒)人		入室率(折線)%		凡例																																																																		
						当該施設																																																																		
						延床面積あたり																																																																		
						児童あたり(折線)																																																																		
						分類平均																																																																		
						延床面積あたり																																																																		
						児童あたり(折線)																																																																		

Ⅲ．施設評価結果によるポートフォリオ(機能別評価)		
■ 費用対効果分析【供給グラフ折線×㎡あたり収支(工事請負費除く)による比較】		
【当該施設の評価】 B1		
区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い
凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(同一分類)の他施設		
※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。		

■ 一次評価【費用対効果分析×施設性能分析による比較】		
【当該施設の評価】 C2		
区分	対応	方向性の考え方
A	継続	現状維持・長寿命化を基本とする
B1	向上	施設性能の向上を検討する
B2	向上	費用対効果の向上を検討する
C1	改善	施設性能の改善を検討する
C2	改善	施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する
C3	改善	費用対効果の改善を検討する
D1	見直し	施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する
D2	見直し	費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する
E	要見直し	施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である
凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(同一分類)の他施設		
※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。		

Ⅳ．機能及び施設の現状と課題		
■ 現状における施設の課題と対応(現状で課題がない場合でも今後10～20年程度を想定して記載)		
課 題	機能(サービス)	施設(建物)
対応方針	学童保育室は、昼間親がいない家庭の児童に対し安全な保育を行う場所である。人口は減少し続けているものの、世帯数は増加している。核家族及び共働き世帯においてニーズが高い学童保育室は、今後も存続の必要がある。	学童保育室へのニーズが高い学校のため、平成29年度に学校内に設置されたものである。
	ニーズが高いことから、平成29年度に学校内に設置された学童保育室であり、定員36名の学童保育室において令和3年度は月平均34名(94%)の入室児童がいた。今後も継続して当学童保育室を運営する必要性がある。	学校施設であることから、改修等は教育委員会の計画によるもの。不具合を要する箇所は、個別に修繕を行うこととする。

施設カルテ（調査票）

東第一学童保育室

令和 5 .3.31時点

I 施設・建物情報

施設基本情報	施設名称		東第一学童保育室		会計名		普通会計			
	施設番号		082		カルテ番号		追加6			
	所在地（地番又は住所）		長野2-26-8		所管課		子ども未来課			
	大分類		子育て支援施設		中分類		学童保育室			
	延床面積施設計		64.00 m ²		敷地面積		18,547.00 m ²			
	建物所有状況		市所有		土地所有状況		市所有			
	うち借受建物面積		m ²		うち借地面積		m ²			
	小学校区		東小学校通学区域		中学校区		行田中学校通学区域			
	管理形態		直営		配置形態		複合			
	指定管理・委託先名									
複合・併設の状況		東小学校校舎1階に、学童保育室を設置。								
避難所指定		あり		駐車可能台数		36 台				
建物基本情報 ※欄が不足する場合には4ページ以降に続きを記載	1	建物名	教室棟（学童保育室部分）		主体構造	RC		階数(地上・地下)	4	0
		大規模改修実施年度	2003		延床面積	64.00 m ²		建築年度	1974 年度	
		耐震診断・耐震補強	実施済		実施済		経過年数	48 年		
	2	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度			延床面積	m ²		建築年度	年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	- 年		
	3	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度			延床面積	m ²		建築年度	年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	- 年		
	4	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度			延床面積	m ²		建築年度	年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	- 年		
	5	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度			延床面積	m ²		建築年度	年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	- 年		
	6	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度			延床面積	m ²		建築年度	年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	- 年		
	7	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度			延床面積	m ²		建築年度	年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	- 年		
	8	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度			延床面積	m ²		建築年度	年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	- 年		
	9	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度			延床面積	m ²		建築年度	年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	- 年		
	10	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度			延床面積	m ²		建築年度	年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	- 年		

施設カルテ（調査票）

Ⅱ 財務情報（コスト）

単位：千円（端数処理の関係で過去3年の平均と各年度の合計が一致しない箇所がある）

		過去3年の平均	令和2年度	令和3年度	令和4年度
運営人員	正規職員数	0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
	再任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	会計年度任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
施設運営人員 計		0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
人件費		514	512	510	520
需用費【光熱水費】		0	0	0	0
需用費【修繕料】		23	69	0	0
需用費【その他】		0	0	0	0
委託料（施設維持管理）		144	132	171	128
指定管理料		0	0	0	0
土地建物等賃借料		0	0	0	0
工事請負費		0	0	0	0
その他維持管理経費		0	0	0	0
①歳出合計		681	713	681	648
施設利用収入		2,419	2,000	2,585	2,673
その他の収入		0	0	0	0
補助金等収入		111	134	114	84
②歳入合計		2,530	2,134	2,699	2,757

財務指標	施設収支（①-②）	-1,849	千円	収支割合（②÷①）	371.7	%
	利用者あたりコスト	19,262	円/人	利用件（点）数あたりコスト	-	円/件
	1㎡あたりコスト	10,634	円/㎡	入居戸数あたりコスト	-	円/戸

Ⅲ 供給情報（利用）

※定員等については各施設に定めのある定員または過去3年間の平均値を記載

		定員等	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
施設利用状況	児童・生徒・園児数	36	34	人	36	人	36	人
	学級数			組		組		組
	開館・提供日数		258	日	251	日	250	日
	年間延利用者数			人		人		人
	年間利用・給食件数			件		件		件
	年間貸出資料数			点		点		点
	入居戸数			戸		戸		戸

運営情報	設置目的	児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室や児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るものです。						
	設置根拠（設置条例等）	行田市学童保育室設置及び管理条例						
	業務内容等	保護者の就労等により、昼間家庭が常時留守になる児童に対し、放課後等の居場所を提供し、保護及び育成を行う施設。						
	目的外使用	無	目的外の内容					
	運営時間（平日）	:	~	:	運営時間（休日）	:	~	:
その他制限等	建物解体等の制限							
	その他特記事項							

施設カルテ（調査票）

Ⅲ 供給情報（利用）続き

供給指標	過去3年の平均利用者数	35	人	過去3年の平均学級数	-	組
	過去3年の平均開館日数	253	日	過去3年の平均利用件数	-	件
	過去3年の平均貸出資料数	-	点	過去3年の平均入居戸数	-	戸

Ⅳ 施設性能調査結果

分類		内容	
Ⅰ 施設	建物の外壁	建物の外壁修繕（外壁の塗り替え・張り替え等）は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成19年度以降に修繕を行っていない、又は平成18年度以前に修繕を行っている。 2：平成19年度以降に竣工、又は修繕を実施しているが、目視で確認できる劣化（ヒビ割れ・タイル浮きなど）がある。 3：平成18年度以降に竣工、又は修繕を実施しており、外壁に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	東小学校の空き教室を利用している。
	建物の屋根・屋上	建物の屋根・屋上の防水工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成5年度以降に工事を行っていない、又は平成4年度以前に工事をやっている。 2：平成5年度以降に竣工、又は工事を実施しているが、雨漏りや目視で確認できる劣化（防水層の破損など）がある。 3：平成5年度以降に竣工、又は工事を実施しており屋根・屋上に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	東小学校の空き教室を利用している。
	耐震性能	建物は耐震性を有していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が無い。 2：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が有る。又は、耐震改修する必要がない。 3：新耐震基準に基づく建物である。 4：不明 ※耐震基準が不明な場合は、建築年が昭和56年6月1日以降の場合は新耐震基準、それ以前の場合は旧耐震基準とした。
		2	
		備考	東小学校の空き教室を利用している。
Ⅱ 設備	冷暖房	冷暖房設備に支障はありますか。	
		回答	【回答の内容】 1：支障あり（備考欄に支障内容を入力してください） 2：支障はあるが軽微なもの 3：支障なし 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	
	給排水	建物の給排水管の更新工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成5年度以降に更新工事を行っていない。 2：平成5年度以降に竣工、又は更新を実施しているが、漏水や赤水、詰まり、水圧不足等が生じている。 3：平成5年度以降に竣工、又は更新を実施しており、問題が無い。 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	
Ⅲ 安全	防災管理	消防用設備等・特殊消防用設備等点検・報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		5	
		備考	
	安全管理	特殊建築物定期点検報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		5	
		備考	
Ⅳ 環境	環境保全	太陽光パネルやLED照明等の省エネルギー設備を導入していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未導入 2：検討中 3：導入済 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	
Ⅴ 機能	バリアフリー	バリアフリー（誘導ブロック、手すり、スロープの設置等）への対応ができていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未対応 2：一部対応済 3：対応済 4：不明 5：該当なし（市民利用がなく、対応不要） ※概ね全体の7割程度が対応している場合は「3」、7割未満だが一部対応している場合は「2」を選択している
		2	
		備考	

施設カルテ（調査票）

I 施設・建物情報（続き）

建物基本情報 2	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	11 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	12 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	13 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	14 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	15 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	16 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	17 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
建物名			主体構造		階数(地上・地下)			
18 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
建物名			主体構造		階数(地上・地下)			
19 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
建物名			主体構造		階数(地上・地下)			
20 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	

V 施設現況

施設写真

